

「はいびなでしん」きっかけに

## 早く大型免許取りたい

昨年、広島県は広島協と連携して「はこびなでしん」をキーワードに、物流業界への女性入職促進プロモーションを展開（本紙既報）。これがきっかけでドライバーを目指す決意をしたのが、1月7日にロジコム・アイ（大上昭二社長、広島市東区）へ入社した田邊美佐子さん（42）だ。

は「（同社が自動車部品の輸送で）手積み・手下ろしがないこと」。ちなみに、20歳の娘さんの「拒否感はなかった」そう。家族の理解も得られた。

入社後、同21日に普通免許を限定解除。大型教習に先立ち、フォークリフト講習を済ませた。空き時間に業務内容を教わっているところだ。所属長の宮川圭太・広島営業所課長は「前向きで熱心。今後が楽しみ」と話す。

大型免許教習は、広島中央自動車学校（同西区）で受講する。繁忙期で予約が思うように取れないそうだが、採用活動にも携わる小林雄取締役部長は「3月中には横乗りして実際に乗務する広島一宝塚間に出たい」と考えている。初任者講習の後には、同社独自のカリキュラムも学ぶ予定だ。

「とにかく早く大型免許を取りたい」と教習開始を心待ちにする田邊さん。次のステップで彼女に会おうが楽しみだ。

小林部長は、同プロモを振り返り「当社の戦力が増えたことは良かった」とする一方、「性別に係なく、人を採ることが難しい。当社に入ってほしいと思う以前に、まず、ドライバー職を選んでくれる人を増やす必要がある」と話している。



ロジコム・アイ  
田邊美佐子さん

病院内のメッセンジャー業務を退職し、求職活動中だった田邊さんは、ハローワークで偶然、真っ赤なポスターを目にし、同プロモを

（伊藤由貴）